

県政レポート

ほんまにやらなやかん! VOL.18



ホームページ

白井 Go! Go! ゆきののり



令和6年6月定例会議において、以下の項目について質問をいたしました。

医療的ケア児の在宅療養時におけるレスパイトについて

Q: 障害者プラン2021では各福祉圏域にレスパイト事業所を1か所以上の目標となっているが、現状について伺う。

A: <健康医療福祉部長>
7圏域における医療型短期入所事業所の現状といたしましては、大津、湖南、甲賀および高島の4圏域におきまして1か所以上の整備が進んでいるところでございます。

Q: 県内のレスパイト資源の増加に向けては、サービスを提供する病院等に、どのように周知を進めているのか伺う。

A: <健康医療福祉部長>
医療・福祉制度が複雑で、病院等における導入がなかなか進んでいないものと認識してございます。このため、びわこ学園と連携いたしまして、令和4年度から新たに「医療的ケア児者対応事業所開設促進事業」を設けまして、医療型短期入所事業所に繋がりそうな病院等を直接訪問いたしまして、周知を行っているところでございます。

Q: 障害者プラン2021の中間見直しを経て、県内のレスパイト資源の増加に向けてどのように取り組んでいくのか伺う。

A: <健康医療福祉部長>
現場において人材育成の課題がありますことから、医療的ケア児の特性の理解や人工呼吸器の取扱いなどの習熟につつまして、看護職員等に対する技術的支援に今、取り組んでいるところでございます。

Q: 医療的ケア児の人生をどう思い、健やかな成長を図るための知事の思いを伺う。

A: <知事>
本県では糸賀一雄先生の「この子らを世の光に」の言葉、その思想に基づく実践を福祉の基本とし各種事業に取り組んできた。このことは、障害の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重しながら、「ともに生きる社会」を実現することを目指すものでございます。

医療的ケアが必要な子ども本人の意思が最大限尊重され、健やかに育っていくとともに、一人ひとりの個性が尊重される幸せな社会を実現することが、知事としての使命であると考えています。

琵琶湖の東西間の移動時間短縮に向けた道路ネットワークについて

Q: 現在までどのような研究を進めていたのか伺う。

A: <土木交通部長>
琵琶湖を横断する複数のルート、具体的には琵琶湖大橋以南の南湖で5ルート、以北の北湖で3ルートを仮定し、概略的ではありますが、それぞれの交通量予測や整備効果について確認したところです。

Q: 研究から得られた「ルート」の交通特性について伺う。

A: <土木交通部長>
南湖横断では、県内を移動する車両の割合が多くなり、市町間を連絡する幹線道路としての特性が見込まれます。一方で、北湖横断では県境を跨ぐ車両の割合が多くなり、他府県と連絡する主要幹線道路としての特性が見込まれます。

Q: 琵琶湖を横断する新たな道路は県民の利益につながるか伺う。

A: <土木交通部長>
琵琶湖を横断する新たな道路のうち、南湖横断では、議員御指摘のとおり慢性的な渋滞緩和や移動時間の短縮、経済活動の活性化などに寄与するものと考えています。大規模な事業費が必要になることは間違いのないことから、先ほど申し上げた効果が、その費用に見合うものとなり得るのか、慎重に見極めていく必要があると考えております。

Q: 道路公社との連携について伺う。

A: <土木交通部長>
現時点では、事業費や事業手法をお示しできる段階には至っておりませんが、先ほど申し上げたように、大規模な事業費が必要になることは間違いのないことから、有料道路制度を含む様々な事業手法を念頭に、道路公社がもつ技術的知見やノウハウも活かしながら、幅広く研究を進めてまいります。

令和7年開催「わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ」の水泳競技会場として、草津市内に新たにプールが誕生しました。



「次世代型スマートファクトリー」視察に行ってきました



日清食品株式会社は、関西工場(栗東市下鉤)に最新鋭の設備を備え、IoT(アイオーティー)技術を駆使して、生産性の向上と品質管理の強化を目指し、これまで人の手で行っていた確認、検査、原材料容器の移動などにおいて、人が介在しない作業工程を確立した「次世代型スマートファクトリー」を新たに開設されました。

本県では、少子高齢化が加速する中、デジタル技術を有効に活用(IoT技術)することで、生産性の向上や業務効率化を目指す中小企業者等を支援し、県内事業者のDX推進を図っています。参考のために同社を訪問し、モノづくり現場のDXについて調査しました。

滋賀県内の2カ所を調査しました

滋賀県立大学(彦根市)は、地域課題解決に貢献するICT手法の研究開発とこれに資するICT高度人材を育成しています。また、同大学法人は、令和10年4月開設予定の滋賀県立高等専門学校に向けた準備・検討が進められています。これらの状況について調査を実施しました。



また、「あきんど道商店街振興組合(近江八幡市)」は、かわりファクトリー滋賀が運営するデジタルコミュニティ通貨「ビワコ」を活用し、近江八幡市内における関係人口・交流人口の創出を図る取組を進めています。今回の調査では、運営に携わる方と意見交換を行う県民参画委員会を実施しました。



今年もビワイチに挑戦

日本一の琵琶湖一周約200kmをサイクリングする「ビワイチ」が、令和元年11月に国土交通省自転車活用推進本部が指定する「ナショナルサイクルルート第1号」に指定されました。

今回は、6月の梅雨の晴れ間にチャレンジ!! 自転車通行空間整備や案内看板設置など、走行環境の整備の進み具合を実際に体感しながら1泊2日の走行をしました。



代表質問

6月定例会議



質問者 柴田 清行 議員

能登半島地震等を踏まえた災害対応体制の強化について

Q 能登半島地震や過去の災害も踏まえ、地震災害から県民の命を守ることにについて考えを伺う。

A 能登半島地震等の教訓や、今後、示される国の防災基本計画の修正内容、および県の災害対応体制の検討を踏まえ、滋賀県地域防災計画の修正を進めさせていただいております。激甚化する自然災害から県民の命を守るため、市町とともに自助・共助・公助による地域防災力の向上を図り、災害に強い滋賀を創ってまいります。

健康長寿の滋賀づくりについて

Q 国スポや障スポをきっかけにして「健康しが」づくりをどのように進展していくのか、伺う。

A 大会の準備や開催を契機といたしまして、県民の健康づくりの機運を醸成いたしますとともに、多様な人々が共に理解し、支え合う共生社会の実現につながる施策を積極的に推進していきたい。また、大会終了後も、継続的な取組をさらに前に進め、健康しがの実現に向け、健康長寿日本一を目指してまいります。

魅力ある国スポ・障スポの準備状況について

Q 円滑な大会運営と、道路等の環境整備の状況を伺う。

A 円滑な大会運営に当たりましては、道路等の環境整備も重要であると認識しており、大会に向け、開・閉会式会場や各競技会場周辺のアクセス道路や河川、都市公園において、舗装の修繕や伐木、除草、植栽管理に集中的に取り組むこととしております。また、地元自治体や交通事業者等と連携し、交通集中が見込まれる開・閉会式会場周辺の道路における交通規制の周知や、企業へのテレワークの推奨など渋滞対策を検討してまいります。

Q 子ども達の観戦や県独自の取組について具体的な考えを伺う。

A 県内の小中学校や特別支援学校の児童・生徒の皆さんには、会場での観戦や応援を通じてスポーツの魅力を感じていただき、また、高校生の皆さんには、教育活動の一環として大会運営に携わっていただくなど、様々な形で子ども達が両大会に関われるよう準備を進めてまいります。

本県経済の活性化について

Q 万博開催や大河ドラマといったチャンスを活かし、インバウンドの誘致等に取り組むのか。

A 万博開催前から本県への注目を高めるよう、本年秋からシガリズムをテーマに観光キャンペーンを展開し、国内外からの誘客を図ることとしております。特に、東アジアに対しましては、先月の韓国メディアとの対談で手ごたえを感じたゴルフやピワイチなどのアクティビティを活かした誘客を進めるとともに、ヨーロッパに対しましては、本県ならではの宿坊体験やナイトミュージアムなどの文化コンテンツを活かした本物の価値を体験いただけるツアー造成に取り組むなど、ターゲットに応じた誘客を推進してまいります。

本県の農業・漁業政策の課題について

Q 農業・漁業の生産性向上・付加価値向上のための施策について伺う。

A 農業におきましては、生産性向上として、スマート農業技術による省力化、農地の集約化と大区画化、気候変動に対応した新品種の導入などの取組を進めている。漁業におきましては、生産性向上として湖魚(こぎよ)の持続的な利用に向けて、科学的な調査と評価に基づく資源管理型漁業を推進するとともに、付加価値向上として湖魚(こぎよ)のブランド力強化を図るため、鮮度や大きさなどの品質を統一した流通を促進しているところ。

滋賀県警察の警察力強化について

Q ぼけっとポリスの導入意図と運用状況及び今後の展開について伺う。

A 「ぼけっとポリスしが」については、これまで、特殊詐欺の予兆電話や、子どもに対する不審者情報といった注意情報を、アプリの機能を生かしてタイムリーに発信をしているところです。ダウンロード数は、本年度中、県民人口の約1パーセントとなる1万4,000件を目標としているところ、現状は1万3,800件と、日々増加しております。今後は一層の利用者数の増加を図るとともに、交通安全などの更に幅広い分野での発信・活用を行い、県民の安全・安心のための総合的な情報発信ツールとしての運用を目指してまいります。

Q 子ども対象の犯罪・交通事故の現状と取り組みについて。

A 犯罪被害防止につきましては、これまでから学校等における不審者対応訓練や、登下校中の見守り活動、子どもへの声掛け等の行為に対する検挙・警告を実施しております。また、インターネット上での不適切な書き込みに対する注意喚起や、学校での防犯教室等における被害防止のための知識の普及・啓発に努めております。

皆様の声を県政に届ける20人

()内は期数

●委員長 ●副委員長

野洲市



井狩 辰也(2)
いかり たつや
教育・子ども若者常任委員会
地方創生・防災減災対策特別委員会

草津市



奥村 芳正(5)
おくむら よしまさ
環境・農水常任委員会
琵琶湖・森林政策特別委員会

白井 幸則(2)



白井 幸則(2)
しらい ゆきのり
総務・企画・公室常任委員会
行財政・DX推進特別委員会

大津市



副議長
目片 信悟(4)
めかた しんご
総務・企画・公室常任委員会

桑野 仁(3)



桑野 仁(3)
くわの ひとし
教育・子ども若者常任委員会
地方創生・防災減災対策特別委員会

桐田 真人(2)



桐田 真人(2)
きりた まこと
教育・子ども若者常任委員会
公共交通・国入・帰入大会対策特別委員会

栗東市



田中 英樹(1)
たなか ひでき
総務・企画・公室常任委員会
地方創生・防災減災対策特別委員会

湖南市



菅沼 利紀(2)
すがぬま としのり
総務・企画・公室常任委員会
琵琶湖・森林政策特別委員会

甲賀市



村上 元庸(2)
むらかみ げんりょう
厚生・産業・企業常任委員会
琵琶湖・森林政策特別委員会

近江八幡市・竜王町



議長
小河 文人(1)
おがわ ふみと
環境・農水常任委員会
琵琶湖・森林政策特別委員会

有村 國俊(4)

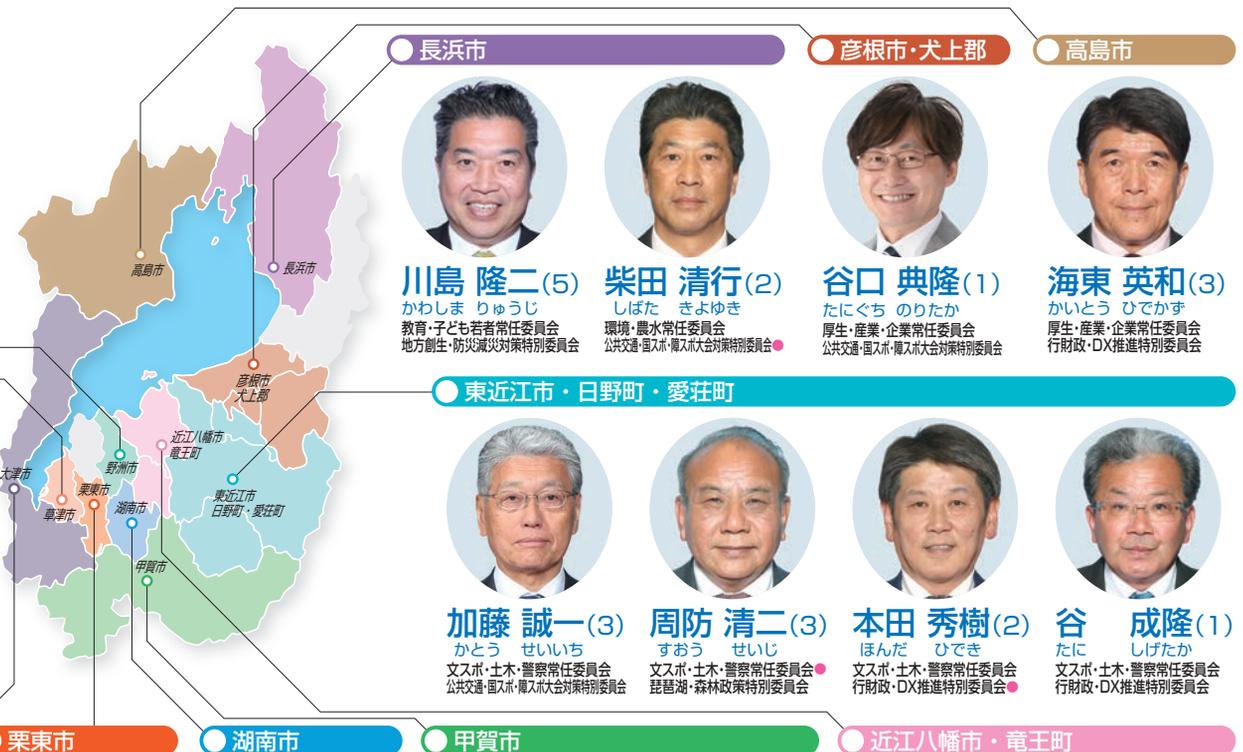


有村 國俊(4)
ありむら くにとし
厚生・産業・企業常任委員会

重田 剛(2)



重田 剛(2)
しげた たけし
環境・農水常任委員会
公共交通・国入・帰入大会対策特別委員会



長浜市



川島 隆二(5)
かわしま りゅうじ
教育・子ども若者常任委員会
地方創生・防災減災対策特別委員会

彦根市・犬上郡



柴田 清行(2)
しばた ぎよゆき
環境・農水常任委員会
公共交通・国入・帰入大会対策特別委員会

高島市



谷口 典隆(1)
たにぐち のりたか
厚生・産業・企業常任委員会
公共交通・国入・帰入大会対策特別委員会

海東 英和(3)



海東 英和(3)
かいどう ひでかず
厚生・産業・企業常任委員会
行財政・DX推進特別委員会

東近江市・日野町・愛荘町



加藤 誠一(3)
かとう せいいち
文スポ・土木・警察常任委員会
公共交通・国入・帰入大会対策特別委員会



周防 清二(3)
すおう せいじ
文スポ・土木・警察常任委員会
琵琶湖・森林政策特別委員会



本田 秀樹(2)
ほんだ ひでき
文スポ・土木・警察常任委員会
行財政・DX推進特別委員会



谷 成隆(1)
たに しげたか
文スポ・土木・警察常任委員会
行財政・DX推進特別委員会